

但會費トシテ一時ニ金拾圓ヲ全納シタル者ニ對シテハ爾後會費ヲ徵收セズ

第十一條 本會ノ經費ハ會費及寄附金ヲ以テ之ニ充ツ

第十二條 本會ノ豫算及決算ハ評議員會ノ決議承認ヲ經テ毎年之ヲ總會ニ報告スルモノトス

第十三條 本會ノ會計年度ハ四月ヨリ始マリ翌年三月ヲ以テ終リトス

第十四條 本會ニ入會セントスル者ハ其ノ住所、職、氏名、生年月日ヲ記載シ其旨申込ムモノトス（退會セントスルトキ

亦同ジ）

第十五條 本會ノ規約變更ハ總會ノ決議ヲ經ルモノトス

重心を應用した玩具の作り方

藤 五 代 策

凡ての物體に働く地球の引力は、實際其の物體の各部に働くものなれども、それ等の引力の合力が働くと思はれる一定點がある、其の點は物體を如何なる位置に置いても變りなきものである、此の特別の一定點を其の物の重心と名づける。

重心を應用した玩具の作り方

一 彌次郎兵衛

彌次郎兵衛を作るには、豌豆と竹籤ひざと喰切とを用意せねばならぬ、先づ少し許りの豆碗まめわんを六七時間清水に投じ、之を筈はずに揚げると充分に膨らんで自在に竹籤が刺せるやうに

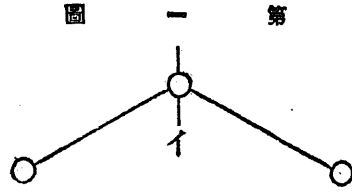
なる、竹籤は提灯屋に賣つてゐる、或は自家で竹片を割つて作ることも出来る、喰切は十五錢位のものでよい、或は古い木鋏を使用するのよかるう。

先づ四寸位の竹籤二本と豌豆三粒とをとりて彌次郎兵衛の頭と兩腕とを作り、頭部には更に一寸位の竹籤を縦に刺す。

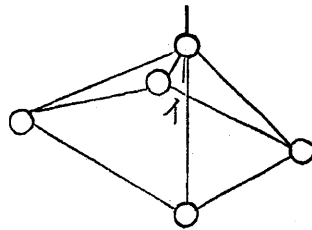
今指頭上に(イ)の先端を立てると

彌次郎兵衛は安定して落ちない、或

は前後に倒しても再び舊位置に復するであらふ、此の彌次郎兵衛の重心は、(イ)の先端よりも少し下方に存在してゐる。



第 二 圖



今左手の四指を軽く握りて食指のみを縦に延ばし、其の先端に獨樂の心軸の下端(イ)を載せ、軸の上部をつまんで捻ればよく回轉する。

三 長尾の鳥

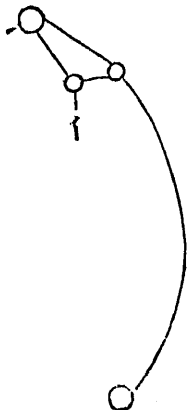
第三圖は長尾の鳥である、

此の玩具に於て特に注意すべ

きことは、頭と尾端に用ひる豌豆は成るべく大きいものを選び、之に反して臀部と腹部との豌豆は小なるものを選びねばならぬ

且つ尾に用ひる長さ竹籤は指先に

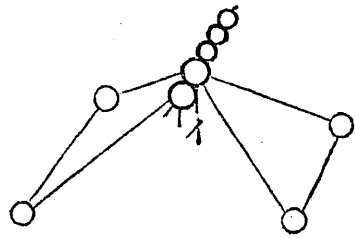
第 三 圖



曲げて彎曲せしめねばならぬ。かうして作つた長尾鳥の脚部(イ)を指先きに載せて遊ぶのである。

二 指頭上にて廻る獨樂

長さ二寸の竹籤四本にて正方形を作り、更に一寸五分の竹籤四本をとりて、第二圖の如き方錐體を作る、その頂點の豌豆に一寸の竹籤を刺して獨樂の心軸に作る。



四 蜻 蛉

第四圖は豌豆と竹籤とを用ひて蜻蛉を作つたものである。蜻蛉の頭の豆は成るべく大なるものを取り、腹部のものは次第に小なるものを用ひる。又翅は稍下方に垂れ其の前端は頭部よりも前方に突出るや

うに注意せねばならぬ。最後に頭部より第二番目の豌豆の下方に、五分位の竹籤をさして、指頭に載せて動かすのである。

會員募集

東京保育協會

眩 惑

「あばたもえくぼ」といふ事がある。人が惑ふ時はとても常識の外である。惑ふものがあればそこに惑はせんとするものがある。人の弱點に取入つて、自分の利を占め様とするものもある。

土 川 五 郎